

発行に明日に理解せしめること。
四、共同半争に際しては、全労農党員が必ず先頭に立って争ふこと。
如何なる場合にもセクト的方針は完全に一掃して置くこと。
五、労農党員は、飽くまで左翼的立場を厳守しつゝ、手ひ違ひこと。我々が態度を曖昧にするやうなことは、断じて誤りである。殊に合同に反対する右翼幹部を屈服させるためには、我々は何等我々の左翼的立場をおぼひ隠すところなく、飽くまで快徹を鮮明にしつゝ、彼等の指導下に在る大衆と固く手を握つて果敢なる共同半争を遂行すべきである。もし、彼等が我々の共同半争を邪惑するやうな場合には、彼等の階級的裏切り態度を徹底的に暴露し、彼等の干渉をハネと断じて下はな付れねばならぬ。それを敢行することなく、我々の立場をカムフラージュし、右翼幹部との口先さりの協調によつて、合同連合を進展せしめ得るかの如く考へることは、一個のタライなきナンセンスである。

以上の観点から、当面我々は、労働者大衆の中に在つては、大右翼結成及び一殊に国際労働会議書記長メンデルス推撃の一の猛烈なる共同半争を巻き起すこと、農村に在つては、全農確立の共同半争を大規模に組織的に巻き起すこと、兼加、眞実に合同を実現せしめるために最も必

機関紙の正確に期する件

我々にとつて全圖的政者層が、半争の武器として如何に重要な役割を有するものであるかに就いて、改めて述べねばならない。一昨年三回までも発行してゐた労働農民新聞が、二回となり、現在では遂に一回となつた。しかもその発行日も免兩益れ加ちであるといふ原因は、機関紙の確立がなされなかつたからに外ならない。

当面必要なる指導理論や国際記事は山積してゐる。各地からの半争レボやニュースは整理しきれない程集つて来る。だが所心の紙代は滞納加ちだ。

発行日を正確にし、発行回数を増すことは、結局紙代の完納以外に断つて方法はない。としてこれには各支部支店確立と機関紙係りの階級改良に基く迅速確実な紙代徴集と密附に俟つほかはない。

一、支店機関紙係りは紙代を徹速正確に徴集して、毎月機関紙部へ納入すること

二、万一機関紙係りが右の事務を怠りかたの場合には、本部は機関紙係りの変更を命じ、場合によっては機関紙発送部数を半減する。